

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2024 ぐんま」の取組について

リレー・フォー・ライフ・ジャパン
ぐんま実行委員会

がんを患った方々とその家族を支援し、がん征圧の大切さを社会に訴えるチャリティー活動として、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024 ぐんま」を下記のとおり実施いたしました。

記

1 リレーイベントの開催

- ・日時：10月12日（土）14：00～ 13日（日）～10：00
- ・場所：ALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンド
- ・内容：リレーウォーク
ドクター講座
ステージイベント（ヒーローショー、ギター演奏、弾き語り等）
ルミナリエの点灯
エンプティテーブルセレモニー

等

- ・参加者数：5,084人（うちサバイバー 180人）
- ・リレーウォーク参加チーム数：73チーム（うち患者会チーム 13チーム）
- ・報道関係：（1）新聞
上毛新聞 記事掲載日 10月13日（日）
（2）テレビ
群馬テレビ 放送日 10月12日（土）
※YouTube タイトル「がん征圧目指して 夜通し歩くチャリティーイベント」



大島実行委員長のあいさつ（開会式）



集合写真



リレーウォークの様子



ドクター講座



エンブティテーブルセレモニー



ドーンパープル



ルミナリエ



ステージイベント

2 ライトアップ

群馬県庁昭和庁舎及び臨江閣をリレー・フォー・ライフを象徴する色であるパープル（紫色）でライトアップしました。

群馬県庁昭和庁舎（9月1日～9月15日）

臨江閣（9月1日～9月6日）



3 がん患者支援とがん征圧のためのチャリティー活動の実施

各企業、関係団体へ協賛を依頼するとともに、募金箱の設置依頼やルミナリエ販売のあっせんを行いました。

4 募金（収入）総額

6,876,373円（昨年度 6,025,254円）

※このうち、イベント等に要した経費を除いた1,880,001円を日本対がん協会に寄付。

【総括】

昨年に引き続き、夜越え開催を行いました。参加チーム数も昨年より増え、また、個人の方も多く参加されました。天候にも恵まれ、秋晴れの空の下で始まったリレーウォークは、明朝、その空がドーンパープルに染まる頃になっても、途切れることなく続き、そのままファイナルラップを迎えることとなりました。

12年目となった今年は、がんを正しく学び、また、医師とサバイバーの交流の機会として、ドクター講座をサバイバーズテントにおいて開催するなど、イベントの内容をより充実させました。

また、ステージイベントや、飲食ブース等、多くの方々から応援と協力をいただき、「がん患者支援とがん征圧」への想いを改めて参加者と共有することが出来ました。

リレー・フォー・ライフの趣旨に賛同する多くの企業や団体から、今年も多額の協賛金・募金等をお預かりしました。皆様からお預かりした協賛金・募金は、イベント等に要した経費を除き、(公財)日本対がん協会に寄付し、がん医療の発展や患者支援、検診の啓発に役立てさせていただきます。